



## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月14日

上場会社名 株式会社 リンガーハット 上場取引所 東 福  
 コード番号 8200 URL https://www.ringerhut.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広 TEL 03-5745-8611  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	16,227	0.5	△959	—	666	—	318	—
2021年2月期第2四半期	16,141	△32.1	△3,594	—	△3,741	—	△6,984	—

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 365百万円 (—%) 2021年2月期第2四半期 △7,033百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	12.62	—
2021年2月期第2四半期	△280.54	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	34,048	10,906	32.0	428.50
2021年2月期	35,786	9,614	26.8	384.24

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 10,884百万円 2021年2月期 9,589百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

新型コロナウイルス感染症拡大の営業が続いているため、2022年2月期中間配当は、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。詳細につきましては、2021年10月14日に公表いたしました「第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,600	1.6	△1,300	—	1,250	—	640	—	25.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当予想は今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって変動する可能性があります。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示させていただきます。詳細につきましては、2021年10月14日に公表いたしました「第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	26,067,972株	2021年2月期	26,067,972株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	666,932株	2021年2月期	1,110,772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	25,186,845株	2021年2月期2Q	24,894,062株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】2ページ「経営成績に関する説明」及び11～12ページ「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、猛威を振るい続ける新型コロナウイルス感染症の収束が見えず現在もお厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による営業時間の短縮や外出自粛による来店客数の減少などもあり、依然として非常に厳しい経営環境が続いております。

当社グループでも新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、個人衛生チェックの徹底、アルコール消毒液の店内設置及び客席へのパーテーション設置など、感染予防対策を引き続き実施しております。

このような状況の中、当社は食の「安全・安心・健康」の向上に継続して取り組んでまいりました。また、『全員参加で、創業60周年に向けて前進しよう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。

コロナ禍の施策としては、お客様の消費スタイルの変化に伴いテイクアウトやデリバリー販売を強化するための出前代行サービスの選択肢を拡充するとともに、その対応可能店舗を拡大いたしました。

退店につきましては、国内で8店舗、海外で3店舗を退店いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内684店舗、海外9店舗の計693店舗（うち直営店舗497店舗、フランチャイズ店舗196店舗）となりました。

既存店の売上高につきましては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を発出された都道府県を中心に、酒類販売自粛や店舗営業時間短縮を余儀なくされましたが、テイクアウトやデリバリー販売の売上高が伸びたこともあり、当社グループ全店舗計で、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は112.7%となりました。

営業外収益には、営業時間短縮要請に係る時短協力金等を補助金収入として18億1百万円を計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は162億27百万円（前年同期比0.5%増）、営業損失は9億59百万円（前年同期営業損失35億94百万円）、経常利益は6億66百万円（前年同期経常損失37億41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億18百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失69億84百万円）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### (長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、今後目指す新ビジョンとして「Ideal Dining宣言～あなたの理想の食卓へ～」を打ち出しました。新たなブランドメッセージとして、おいしい野菜を食べる楽しさを伝える「モグベジ食堂」を制定し、新ブランドメッセージを象徴する商品の第一弾として「彩り野菜のちゃんぽん」「彩り野菜の皿うどん」を販売開始いたしました。また、期間限定メニューとして「とくちゃんぽんグリーンアスパラ」「梅肉と鶏むね肉の冷やしませめん」「冷やしちゃんぽん麻婆茄子」「ほたてとあさりのちゃんぽん」を販売いたしました。さらに、継続して巣ごもり需要に応えるためテイクアウト専用商品や冷凍商品の販売を強化しております。

退店につきましては、国内で8店舗、海外で3店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で597店舗、海外で7店舗の計604店舗（うちフランチャイズ店舗179店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は116.3%となり、売上高は129億16百万円（前年同期比4.0%増）、営業損失は8億83百万円（前年同期営業損失31億42百万円）となりました。

#### (とんかつ事業)

「とんかつ事業」では、テイクアウトの認知度を上げ、とんかつ専門店の人気惣菜をご家庭でも召し上がっていただくために「お持ち帰りパック」を販売開始いたしました。さらに、夏の定番商品として期間限定で梅仕立ての「重ねかつ梅しそシリーズ」を販売しております。

出退店はありませんでしたので、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は国内で87店舗（和食業態の長崎卓袱浜勝、とんかつ大學を含む）、海外で2店舗の計89店舗（うちフランチャイズ店舗17店舗）となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は100.5%となり、売上高は32億39百万円（前年同期比10.8%減）、営業損失は1億55百万円（前年同期営業損失5億8百万円）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は8億78百万円(前年同期比9.0%減)、営業利益1億2百万円(同17.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億37百万円減少し、340億48百万円となりました。これは主に退店による有形固定資産の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ30億29百万円減少し、231億41百万円となりました。これは主に長期借入金の減少及び消費税の支払猶予分納付による未払消費税等の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ12億92百万円増加し、109億6百万円となりました。これは主に新株予約権の一部行使による自己株式の処分による株主資本の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年10月14日に公表いたしました「第2四半期連結業績予想数値と実績数値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,348,621	7,223,068
売掛金	994,943	1,123,990
商品及び製品	168,526	196,823
仕掛品	17,393	14,398
原材料及び貯蔵品	331,195	313,860
前払費用	247,601	302,453
未収入金	982,237	664,902
その他	196,792	227,960
貸倒引当金	△83,122	△81,091
流動資産合計	11,204,187	9,986,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,804,782	10,578,531
機械装置及び運搬具(純額)	1,778,590	1,768,708
土地	5,828,410	5,828,410
リース資産(純額)	116,420	101,201
建設仮勘定	26,083	73,954
その他(純額)	780,404	744,175
有形固定資産合計	19,334,692	19,094,981
無形固定資産	419,501	448,833
投資その他の資産		
投資有価証券	539,830	579,643
繰延税金資産	300,518	316,556
退職給付に係る資産	68,368	71,732
差入保証金	1,012,128	859,978
建設協力金	66,307	61,010
敷金	2,542,302	2,318,300
その他	316,963	329,574
貸倒引当金	△18,748	△18,748
投資その他の資産合計	4,827,670	4,518,047
固定資産合計	24,581,865	24,061,862
資産合計	35,786,052	34,048,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	792,280	824,169
1年内償還予定の社債	316,000	308,000
1年内返済予定の長期借入金	2,952,365	2,901,770
リース債務	99,607	101,269
未払金	961,443	725,251
未払費用	1,289,938	1,205,408
未払法人税等	168,800	329,527
未払消費税等	856,593	222,581
株主優待引当金	113,514	112,049
店舗閉鎖損失引当金	96,384	7,594
販売促進引当金	8,811	6,341
資産除去債務	97,177	3,446
その他	454,984	526,052
流動負債合計	8,207,900	7,273,462
固定負債		
社債	282,000	132,000
長期借入金	13,818,578	12,397,713
長期未払金	543,420	55,443
リース債務	242,240	238,162
株式給付引当金	143,298	139,444
退職給付に係る負債	837,071	871,142
長期預り保証金	379,400	354,867
資産除去債務	1,542,491	1,531,518
繰延税金負債	55,046	55,115
その他	120,314	92,898
固定負債合計	17,963,864	15,868,306
負債合計	26,171,764	23,141,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	7,013,102	2,360,260
利益剰余金	△3,963,448	884,629
自己株式	△2,599,481	△1,547,583
株主資本合計	9,452,935	10,700,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,813	161,335
為替換算調整勘定	△14,551	20,263
退職給付に係る調整累計額	37,380	2,723
その他の包括利益累計額合計	136,642	184,322
新株予約権	5,632	2,990
非支配株主持分	19,078	19,078
純資産合計	9,614,288	10,906,460
負債純資産合計	35,786,052	34,048,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	15,661,048	15,719,124
売上原価	6,144,380	5,859,288
売上総利益	9,516,668	9,859,835
その他の営業収入	480,483	508,290
営業総利益	9,997,152	10,368,126
販売費及び一般管理費	13,591,642	11,327,827
営業損失(△)	△3,594,490	△959,701
営業外収益		
受取利息	1,724	1,548
受取配当金	7,656	8,173
未回収利用券受入益	11,839	—
受取補償金	—	13,986
補助金収入	—	1,801,017
その他	22,950	12,894
営業外収益合計	44,170	1,837,621
営業外費用		
支払利息	34,383	142,403
為替差損	22,105	25,400
リース解約損	20,832	8,749
持分法による投資損失	46,183	4,680
支払手数料	57,493	16,798
その他	10,608	13,460
営業外費用合計	191,605	211,493
経常利益又は経常損失(△)	△3,741,925	666,426
特別利益		
固定資産売却益	15,709	483
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	3,527
特別利益合計	15,709	4,010
特別損失		
固定資産売却損	1,379	—
固定資産除却損	35,158	32,106
店舗閉鎖損失	25,300	6,663
店舗閉鎖損失引当金繰入額	84,629	—
減損損失	1,625,237	19,754
特別損失合計	1,771,707	58,524
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,497,922	611,912
法人税等	1,486,105	293,840
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,984,028	318,071
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,984,028	318,071



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△6,984,028	318,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,536	47,521
為替換算調整勘定	△1,970	30,926
退職給付に係る調整額	△46,645	△34,657
持分法適用会社に対する持分相当額	204	3,889
その他の包括利益合計	△49,947	47,679
四半期包括利益	△7,033,975	365,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,033,975	365,751

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,497,922	611,912
減価償却費	951,831	899,463
減損損失	1,625,237	19,754
リース解約損	20,832	8,749
株主優待引当金の増減額(△は減少)	10,007	△1,464
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35,394	34,071
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△451	△3,364
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	79,123	△88,789
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,459	△2,031
受取利息及び受取配当金	△9,381	△9,721
支払手数料	57,493	16,798
支払利息	34,383	142,403
補助金収入	—	△1,801,017
持分法による投資損益(△は益)	46,183	4,680
固定資産売却損益(△は益)	△14,329	△483
固定資産除却損	35,158	32,106
店舗閉鎖損失	25,300	6,663
売上債権の増減額(△は増加)	118,752	△129,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,679	△8,342
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,173	32,564
未払消費税等の増減額(△は減少)	38,166	△634,012
その他の流動資産の増減額(△は増加)	201,138	182,750
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△205,166	4,843
長期未払金の増減額(△は減少)	△232	△487,977
預り保証金の増減額(△は減少)	△9,147	△24,533
その他	△57,567	△7,487
小計	△2,550,505	△1,201,569
利息及び配当金の受取額	8,709	9,160
利息の支払額	△37,305	△141,674
リース解約損の支払額	△20,832	△8,749
補助金の受取額	—	1,801,017
法人税等の支払額	△161,662	△138,032
法人税等の還付額	156,786	50,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,604,809	370,213
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△11,058
有形固定資産の取得による支出	△1,350,250	△867,355
有形固定資産の売却による収入	45,832	483
無形固定資産の取得による支出	△12,560	△30,968
建設協力金等の支払による支出	△9,050	△15,893
建設協力金等の回収による収入	94,547	399,403
投資有価証券の取得による支出	△1,407	△1,430
関係会社株式の売却による収入	—	7,992
その他	△36,709	△269,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,269,599	△788,740

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△700,000	—
長期借入れによる収入	6,940,991	42,526
長期借入金の返済による支出	△791,471	△1,513,986
社債の償還による支出	△158,000	△158,000
自己株式の売却による収入	6,721	3,854
自己株式の取得による支出	△263	△542
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	923,108
配当金の支払額	△116,813	△218
借入関連手数料の支払いによる支出	△57,493	△12,787
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△63,387	△58,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,060,283	△774,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,938	56,782
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,192,813	△1,136,610
現金及び現金同等物の期首残高	2,208,638	8,348,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,401,451	7,212,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①当社は、2021年5月25日開催の第57期定時株主総会の決議により、2021年5月25日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金3,532,935千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替え、また、会社法第452条の規定に基づき、振り替え後のその他資本剰余金4,530,006千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行いました。なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

②当社は、2021年1月26日付発行の第1回新株予約権(モルガン・スタンレーMUF G証券株式会社を割当先とする第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権)の一部行使による自己株式の処分を行いました。これにより、資本剰余金が122,835千円減少し、自己株式が1,048,586千円減少いたしました。これらの結果等により、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金は2,360,260千円、自己株式は△1,547,583千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は当社の事業活動にも大きな影響を及ぼしています。今後も当社の事業に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しにつきましては、2021年度中にかけて影響が続くと想定しております。

当社グループはこの仮定のもと、固定資産の減損会計の適用や繰延税金資産の回収可能性の判断など会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	12,415,927	3,630,654	94,950	16,141,532	—	16,141,532
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	870,249	870,249	△870,249	—
計	12,415,927	3,630,654	965,199	17,011,781	△870,249	16,141,532
セグメント利益 又は損失(△)	△3,142,155	△508,633	86,829	△3,563,958	△30,531	△3,594,490

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△30,531千円には、セグメント間取引消去641千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△31,172千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は1,387,192千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスであり、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は238,045千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぼん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	12,916,641	3,239,306	71,467	16,227,415	—	16,227,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	806,919	806,919	△806,919	—
計	12,916,641	3,239,306	878,387	17,034,334	△806,919	16,227,415
セグメント利益 又は損失(△)	△883,387	△155,973	102,346	△937,014	△22,687	△959,701

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△22,687千円には、セグメント間取引消去10,288千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△32,975千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぼん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は19,754千円です。

「とんかつ」セグメントにおいて、該当事項はありません。

## 3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2022年 2月期 第2四半期	売上高 (百万円)	10,319	3,740	14,059	2,866	712	3,578	1,057	79	18,773
連結累計 期間	店舗数 (店)	425	179	604	72	17	89	—	—	693
2021年 2月期 第2四半期	売上高 (百万円)	10,161	3,482	13,644	3,333	713	4,046	842	144	18,677
連結累計 期間	店舗数 (店)	491	199	690	87	18	105	—	—	795
対前年比率	売上高	101.6%	107.4%	103.0%	86.0%	99.9%	88.4%	125.5%	54.9%	100.5%
	店舗数	86.6%	89.9%	87.5%	82.8%	94.4%	84.8%	—	—	87.2%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粋比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。